

キーワード

研究の背景と目的

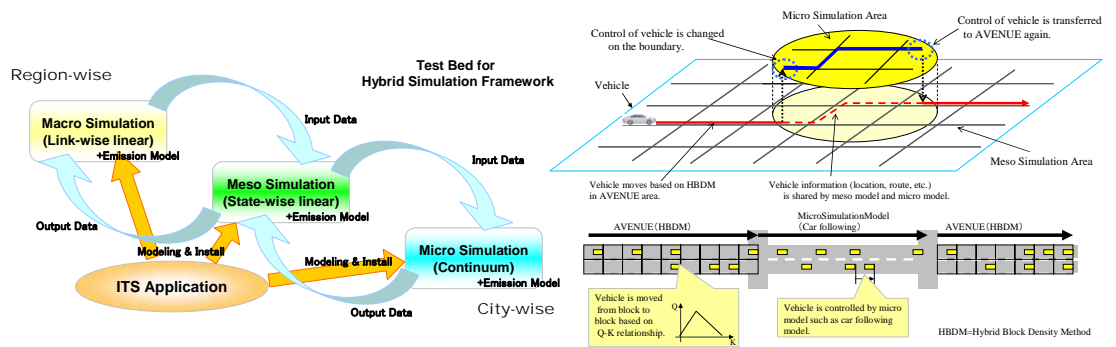
自動車交通に起因する渋滞問題や環境問題の解消を目指す各種の技術方策や施策評価のために、交通シミュレーションに期待が集まっている。本研究は、大は日本全国規模から、小は1交差点までを1つのシミュレータで一元的に扱う「ハイブリッド交通シミュレーション」技術を開発する。

方法

ハイブリッドシミュレーションは、以下のカバー範囲の規模が異なる複数のシミュレーションモデルを連携させ、同時並行で交通流を再現するものである。

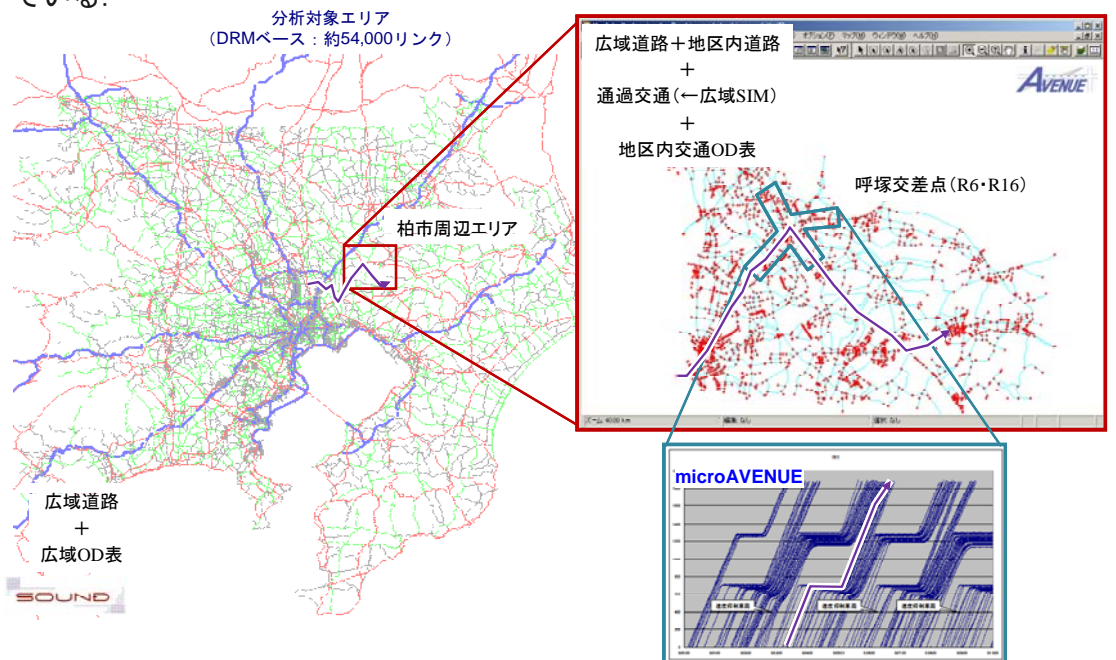
- ①全国～地方規模 … 広域メソシミュレーションモデル (SOUND)
- ②市町村規模 … 中域メソシミュレーションモデル (AVENUE)
- ③街区・路線規模 … ミクロシミュレーションモデル (MicroAVENUE)

研究は単にモデル開発に留まらず、広域シミュレーションに必要な道路ネットワークを抽出する技術や、観測交通量にあわせてOD表を調整する技術、プローブデータとの融合技術など、データハンドリングに関する理論フレームワークの構築や、CO2排出量推計モデル等の環境評価技術との組み合わせなどの利用技術の開発にも取り組んでいる。



適用例

現在のところ、関東圏に広がるネットワークで、エコドライブやエコルート推奨サービスによるCO2削減効果の定量化を目的としたパイロットスタディに取り組んでいる。



連絡先

(株)アイ・トランスポート・ラボ・堀口 <rhoriguchi@i-transportlab.jp>